



平成28年 5月13日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村 眞良
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問合せ先 経営管理部長 北垣 栄一
(TEL. 03-3664-9665)

助成金受領に伴う特別利益の計上に関するお知らせ

平成26年3月28日発表の「平成26年度かがわ中小企業応援ファンド事業採択に関するお知らせ」で当社の「イオン液体技術を応用した新規骨粗鬆症治療貼付剤の開発」プロジェクトが、公益財団法人かがわ産業支援財団の平成26年度かがわ中小企業応援ファンド事業に採択されことをお知らせしておりましたが、このたび2年度目の助成金額が4.75百万円に決定し、特別利益に計上することになりましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、平成28年5月12日に発表した当社グループの平成28年12月期業績予想に織り込み済みです。

以 上

《ご参考》

骨粗鬆症は、骨の吸収（分解）と形成のバランスが崩れることにより、骨の密度や質が低下し、骨折しやすくなる疾患で、日本の骨粗鬆症患者数は1300万人以上と言われており、高齢化が進むとともに年々増加しているものと考えられています。

本プロジェクトは、現在は注射しか投与手段のない、骨形成を促進する薬剤であるテリパラチドの貼付剤を開発することを目標とするもので、貼付剤とすることにより、自己投与可能で、痛みや皮膚損傷が少ないという点で患者負担を大幅に軽減し、生活の質（QOL）を向上させることができると期待されます。

テリパラチドは、間欠的な投与により骨の形成を促進させる薬剤であり、世界の骨粗鬆症市場の1/10を占め、2012年には世界で約11億5千万ドル、国内で約170億円の市場規模となっていますが、分子量約4000のペプチドであるため、現在は注射剤しか上市されていません。

当社は、イオン液体を用いた独自の経皮吸収型製剤技術であるILTS®（Ionic Liquid Transdermal System）を活用することにより、従来では不可能であったテリパラチドの様な高分子のペプチドを経皮吸収させることに取り組んでおり、患者負担の少ない経皮吸収型製剤の登場により市場規模も拡大するのではないかと期待しています。